

防大情グ第717号（29.10.17）別冊第4

叢書執筆要領

平成29年10月4日

叢書編集委員会

1 原稿用紙およびフォント（字体）

原稿（和文）は、原則としてA4用紙に横書きで40字×35行とし、MS Wordを使用する。フォントは、MS明朝10.5ポイントを標準とし、論文表題は、MS明朝太字14ポイント、著者名は、MS明朝太字12ポイント、見出し語（章・節等）は、MS明朝12ポイント太字、脚注は、MS明朝9ポイントとする。ただし、文中で使用する半角英数字および半角記号について、本文は、Times New Roman 10.5ポイント、脚注は、Times New Roman 9ポイントを基準とする。

原稿（英文）は、原則としてA4用紙にダブルスペースとし、MS Wordを使用する。フォントは、Times New Roman 12ポイントを標準とし、論文表題及び著者名は、Times New Roman 太字14ポイント、見出し語（章・節等）は、Times New Roman 太字12ポイント、脚注は、Times New Roman 9ポイントとする。

2 マージン

上下左右とも30ミリメートルとする。

3 用語等

学術用語及び論文形式は、原則として所属学会の慣例に従う。

4 章立て

論文については原則として、はじめに（序、序論など）、1, 2, 3, …, 結び（おわりに、結論など）等、章・節・項に分けて記載する。章1、節(1)は全て半角とし、直後に半角スペースを挿入し、本文の1行分をとることとする。資料や引用文を独立した段落にするときは、2字下げとする。

5 数式

独立した数式は、1行につき本文の2行ないし3行のスペースをとって書く。本文に式を挿入する場合は、 a/b 、 $\exp(t/p)$ のような記入法を用いる。

数式及び数学記号は数式用フォントを使用する。

6 図表及び写真

図（写真を含む。）および表は、和文の場合は「図1 概要」「表1 内訳」のように一連番号で示し（「」は不要）、英文の場合は、「Fig.1 Outline」「Table 1 Contents」のようにキャプションを示すものとする。

7 脚注

和文は、本文末尾に一括して掲げる。本文中の該当箇所の右肩に、¹²³のように番号を付ける。

英文は、ページ毎に末尾に掲げる。本文中の該当箇所の右肩に、¹²³のように番号を付ける。